

青森圏域

大規模氾濫時の減災対策協議会

取組状況

青森市 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：堤川、駒込川、沖館川、西滝川等20河川】

【令和2年度の主な実施内容】

○防災拠点機能の強化

⇒令和元年度に行った備蓄計画の見直しを受け、令和2年度から備蓄物資の強化拡充を行っています。(約20,000人分をR2～R5年度までの4年間で整備)

⇒避難所における感染症対策として、段ボールベッド・パーテーションやテント等の感染症対策用品を新たに備蓄しました。

【感染症対策用品の備蓄】



○避難所の整備

⇒令和元年度に引き続き、中学校等に避難所標識板を整備しました。

⇒市内全ての洪水予報河川及び水位周知河川の新たな浸水想定区域の公表に伴い、避難所指定の見直しを行い、洪水ハザードマップを更新しました。



○自主防災組織の育成

⇒令和元年度に引き続き、県と連携し、自主防災組織を対象とした研修会を実施し、地域防災力の向上を図りました。

【研修会の様子】



【令和3年度以降の主な実施内容】

○防災拠点機能の強化

⇒令和2年度に引き続き、備蓄物資の強化拡充を行います。(13,000人分⇒20,000人分を令和2年度から令和5年度までの4年間で整備)

○津波ハザードマップの更新

⇒国による「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」による津波浸水想定を踏まえ、県から新たな津波浸水想定区域が公表されたことから、避難所指定の見直しを含めた津波ハザードマップの更新と「津波避難計画」の修正に着手します。

○自主防災組織の育成

⇒令和2年度に引き続き、県と連携した自主防災組織の研修会を開催するなど、自主防災活動の活性化を促進します。

○「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の修正

⇒災害対策基本法が改正され、これまでの「避難勧告」と「避難指示」の2つの避難情報が、「避難指示」に一本化されたことを受け、市が作成している「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の修正に着手します。

平内町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：小湊川、盛田川、明神川、長沢川、清水川、堀差川】

【令和2年度の主な実施内容】

○防災行政用無線戸別受信機の整備

設置を希望する家庭や事業所等に無償で貸与。



○小湊川の洪水ハザードマップを更新

想定最大規模降雨を前提とした洪水浸水想定区域に基づきハザードマップを作成し、被害想定区域内に居住する住民に配布。



○防災用備品等の整備

新型コロナウイルス対策やプライバシー対策として、マスクや間仕切り、屋内用テント、簡易ベッド等を整備。



【令和3年度以降の主な実施内容】

○自主防災組織の体制強化

自主防災組織や自主防災組織未設立の町内会等を対象とした研修会等を開催し、防災知識の普及と地域防災力の強化に努める。



○自主防災組織等の避難訓練への協力

更新した洪水ハザードマップや防災用備品等を活用し、自主防災組織等が実施する避難訓練への協力を行う。

○防災用備品等の整備

各避難所に配備している保存食・保存水の更新を行う。

青森圏域大規模氾濫時の減災対策協議会 今別町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和2年度の主な実施内容】

○防災行政無線デジタル化工事の完了（同報系・移動系）

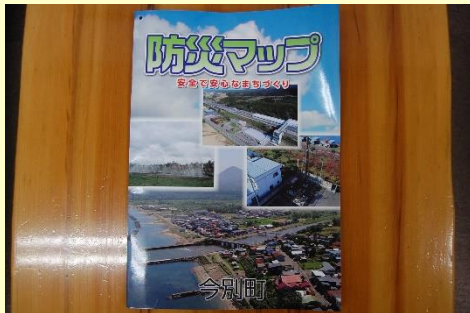


○有事の際に備え消防団
車両の更新

購入から年数の経過した
小型ポンプ付積載車の更新



○防災マップの作成及び每户配布の実施



【令和3年度の主な実施内容】

○消防団車両の更新

計画的に経年劣化した小型ポンプ付積載車の更新を行う

○消防団設備及び装備の充実

災害時や、水防団待機時に備え設備の購入や訓練を行う



○防災マップや洪水タイムラインを活用した避難訓練の実施



蓬田村 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：広瀬川、蓬田川】

【令和2年度の主な実施内容】

○防災行政無線戸別受信機の整備



デジタル防災行政無線に対応する、戸別受信機について、設置を希望した村民に対し無償貸与にて整備。

○防災資機材の拡充整備



令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、災害発生時に感染症に配慮した避難所生活を送るために必要な室内テント等防災資機材を整備。

【令和3年度以降の主な実施内容】

○消防団屯所の改修及び車両の更新



老朽化の著しい消防団屯所及び小型動力ポンプ付積載車について令和3年度より順次改修及び更新していく予定。

○防災ハザードマップの更新



県が調整した内閣府で示している「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」のデータを活用し、改定版の作成をする。

○地域防災計画の更新



蓬田村地域防災計画を村の現状に合わせて修正を行う。

外ヶ浜町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：元宇鉄川、算用師川、増川川、湯ノ沢川、蟹田川】

【令和2年度の主な実施内容】

- ・ 町職員の災害対応能力向上を図るため令和2年10月20日に三厩地区の大雨を想定した災害対策図上訓練を実施した。
- ・ 自主防災組織の設立促進を図るため、令和3年3月16日に自治会長等を対象に自主防災体験研修会を実施した。



災害対策図上訓練

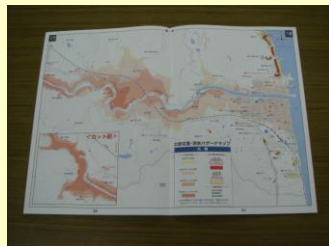


自主防災体験研修会

- ・ 外ヶ浜町防災マップを新たに作成し、町内に毎戸配布した。マップには蟹田川の想定最大規模の浸水想定区域を掲載した。



防災マップ（表紙）



防災マップ（地図面）

【令和3年度以降の主な実施内容】

- ・ 令和2年度に作成した防災マップを使用した町職員対象の防災訓練の実施。
- ・ 自主防災組織の設立促進を図るため、地区自治会長、民生委員等を参集し、自主防災研修会を実施する。
- ・ 三厩中学校が県と連携し実施する防災訓練への協力。
- ・ 避難所における新型コロナウイルス感染症対策のための物品の整備。
- ・ 各水防団の設備、備品等の維持充実。
- ・ 防災無線の難聴地域の把握・改善。

野辺地町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：野辺地川、枇杷野川、与田川】

【令和2年度の主な実施内容】

- 高潮警報等による災害対応。
(避難所4箇所開設、対象地区へ避難勧告を発令)
- 町職員を対象とした避難所運営に係る図上演習を実施。
- コロナ禍での避難所運営として、災害用プライバシー保護テントを購入。
- 新浸水想定区域に基づいた洪水・土砂災害ハザードマップを作成。
- 国土強靱化地域計画を作成。
- 消防団員（水防団員）の勧誘。



【令和3年度以降の主な実施内容】

- 大雨、洪水、土砂災害等を想定した総合防災訓練の実施。
- 地域防災計画の修正を実施。
- 最大クラスの津波を想定した津波ハザードマップの作成に係る取組。
- 町職員や自主防災組織等、地域住民を対象とした避難所開設訓練や防災に係る研修会等の実施。
- 自主防災組織結成の推進及び活動補助金の交付、防災士養成に係る補助の実施。



横浜町 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：三保川、平山沢川、鶏沢川、桧木川】

【令和2年度の主な実施内容】

- 災害時に避難所で使用する段ボールベッド、ワンタッチパーテーション等の新型コロナウイルス感染症対策に係る物品を購入。



【令和3年度以降の主な実施内容】

- 横浜町地域防災計画の修正
- 令和2年度で整備した避難所用物品を使用しての避難所運営訓練実施（自主防災会、町内会）
- 小中学校への防災知識の普及（計画、実施）

- 町広報誌で水防団員（消防団員）募集等の周知活動。

- 野辺地町及び六ヶ所村と共同で国土強靱化地域計画を策定。

- 消防団装備の充実の一環として消防ポンプ自動車2台の更新



青森地方気象台 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和2年度の主な実施内容】

地域防災力の強化。

市町村との顔の見える関係を継続・強化、防災に関する知識の普及啓発

平時

- 市町村訪問等により「顔の見える関係」を構築
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練へ積極的に協力
⇒訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン
⇒利用者の立場に立った、情報提供
- JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣
⇒気象台職員を迅速に派遣

【令和3年度以降の主な実施内容】

地域防災力を更に強化します。

「あなたの町の予報官」を編成し、市町村との顔の見える関係を強化

平時から、首長訪問や出水期前の市町村訪問により、市町村等との緊密な連携関係を強化するとともに、自主防災組織や地域住民および児童・生徒等を対象とした気象防災ワークショップ等を実施するなど、市町村に寄り添った支援を実施。



青森県防災危機管理課 令和2年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和2年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に対応できる地域防災体制を構築するため、時代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討及び試行を実施し、その結果を踏まえた上で、ツールを完成させた

- ・防災全般に関する出前講座を計4回開催（約100人聴講）



- ・自主防災組織未設立町会の役員等を対象とした研修会を計7回開催（約250人受講）
実施内容：自主防災組織の役割と活動に関する講演、災害図上訓練DIG

- ・防災活動をけん引できる指導者的人財を育成し、課題や取組を共有してもらうため、地域防災活動ネットワーク研修会を開催。（3地区×2回）

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・10月20日に外ヶ浜町、11月7日に佐井村、2月26日に鯉ヶ沢町で河川の氾濫や土砂災害を想定した災害対策本部図上訓練を実施

【令和3年度以降の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少社会に対応できる地域防災体制を構築するため、教育関係者やPTA等の地域住民へ向け、防災教育の重要性等を普及啓発するとともに、昨年度制作した防災教育活動支援ツールの活用方法等の周知を行う

- ・昨年度に引き続き、出前講座を開催

- ・浸水想定区域内の自主防災組織未設立町会等を対象に、設立促進及び活動の活発化を重点的に働きかけるための研修

開催予定市町村：
弘前市、五所川原市 等



- ・昨年度に引き続き、地域防災活動ネットワーク研修会を開催。

- ・青森県総合防災訓練は9月14日に五所川原市で開催予定

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・風水害を想定した市町村災害対策本部図上訓練を五戸町及び野辺地町で実施予定

青森県河川砂防課 令和2年度主な実施内容

【令和2年度の主な実施内容】

○簡易型河川監視用カメラの設置【継続】

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、令和元年度に引き続き、簡易型河川監視用カメラを県管理河川19河川に設置
- ・うち、青森圏域は西滝川（青森市）、盛田川（平内町）の2河川に設置

河川監視カメラ設置箇所

<簡易型河川監視用カメラ設置河川>

市町村	設置河川
青森市	西滝川
平内町	盛田川

2河川に簡易型河川監視用カメラを設置

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成・公表【継続】

- ・天田内川・新城川・赤川・野内川（青森市）、小湊川（平内町）、今別川（今別町）、蟹田川（外ヶ浜町）において浸水想定区域図を公表（令和2年6月10日）



浸水想定区域図(新城川)

○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施
- ・令和2年度は、蟹田川（外ヶ浜町）で実施



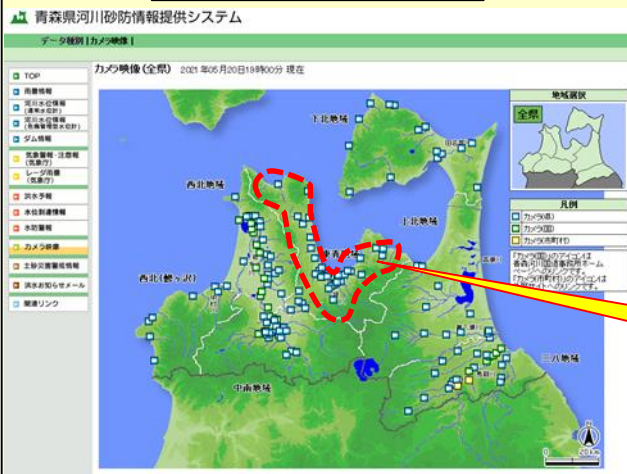
蟹田川 (R2.5.27撮影)

○治水ハード対策の推進【継続】

- ・駒込ダム建設事業（青森市）を継続実施
- ・天田内川総合流域防災事業（青森市）を継続実施
- ・小湯ノ沢川事業間連携砂防等事業（外ヶ浜町）等を継続実施



簡易型河川監視用カメラ



カメラ映像 盛田川

馬名	盛田川	河川名	盛田川
所在地	平内町大字小湊橋	所轄	東吾地地区民局



リアルタイム映像

盛田川(盛田川)

平常時映像

青森県河川砂防課 今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

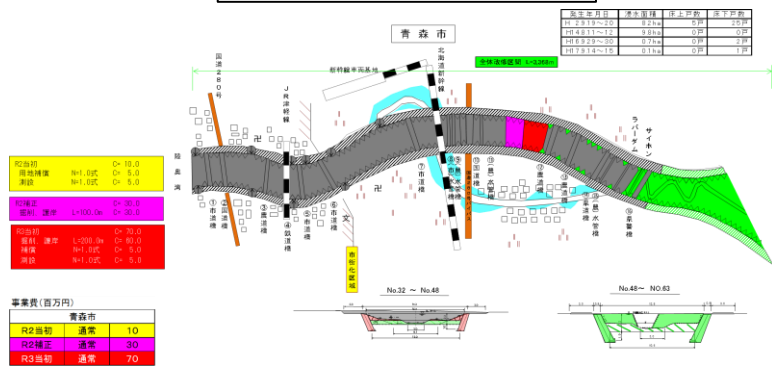
○治水ハード対策の推進【継続】

- ・ 駒込ダム建設事業（青森市）を継続実施
- ・ 天田内川総合流域防災事業（青森市）を継続実施
- ・ 小湯ノ沢川事業間連携砂防等事業（外ヶ浜町）等を継続実施

○河道内の堆積土砂対策を実施【継続】

- ・ 国土強靱化5か年加速化対策事業(R2補正)・緊急自然災害防止対策事業・緊急浚渫推進事業による河川整備を実施
- ・ 令和3年度は、堤川・新城川・天田内川（青森市）、小湊川・盛田川・明神川（平内町）、蟹田川（外ヶ浜町）等で実施予定

天田内川総合流域防災事業



(参考)浪岡川掘削状況

○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・ 今年度は、盛田川・明神川（平内町）を対象に実施予定



駒込ダム完成イメージ



R3.4月 駒込ダム工事現場除雪状況